

テラミンの写真館

キイトンボのオスとメス

2006年7月に撮影

キイトンボの成虫

オスは全長 31 - 44mm、メスは全長 33 - 48mm、イトトンボとしては中型。

胸部は未成熟で淡褐色、成熟すると明るい黄緑色。腹部はオスではあざやかな黄色、メスでは個体によって緑味のある黄褐色あるいは緑色となる。翅は無色透明、複眼は黄緑色、脚は黄色。

幼虫

体長 11 - 15mm。

生態

平地や低山地の池沼や湿地、湿原に生息する。成虫はハエから小型のトンボ（同種を含む）まで捕食する。

分布

日本（本州以南）・中国・朝鮮半島。
（Wikipediaより抜粋）



©t.teramin

profire
teramin
岡山市在住
会社員
Nikon 派

ブログ <http://teramin.livedoor.biz/>
ツイッター http://twitter.com/teramin_now

今月の表紙はこの人！ 高山辰則(龍雲)



■プロフィール

近日連載開始！「伝統工芸に生きる」著者

工房 / 播州小野算盤工房 shin

2014 年より、伝統工芸士 / 宮本一廣氏のもとで修業。

2015 年に播州小野算盤工房 shin を立ち上げる。

「全ての人ではなく、できるだけ多くの人に気に入ってもらえる商品を作れ」という師の言葉を継承し、伝統的工芸品づくりを通じて、その歴史や技術を後世に伝えるために日々努力をしています。